

モノづくりマネジメント技術革新

～地球にやさしい新エネルギー～

参加のお勧め

ものづくりとは日本の製造業と、その精神性や歴史を表す言葉であります。1990年代後半から企業やマスメディアの間でさかんに使われるようになりました。現在の日本の製造業の繁栄は、日本の伝統文化、固有文化に源を発するという史観であります。ものつくりとも言い、モノづくりと表記される場合もあります。大和言葉ですが、生産や製造を意味する言葉として盛んに使われるようになったのは最近のこの様です。

永続的な発展のための体質強化活動は常に行われています。しかし、モノづくり力は一朝一夕に出来上がるものではありません。

この度、中国地区品質経営協会では、広島から第3回ものづくり日本大賞を受賞された中から、「地球にやさしい新エネルギー」に焦点を当てたシンポジウムを企画しました。

たゆまない技術への挑戦、徹底したQCDの追及、それを実現する人材の創出こそがモノづくり競争力強化の源泉と思いますが、今回の2つの講演が良い事例であると確信します。モノづくり活動における技術革新などについて、2つの講演から成功要因や課題を学んで頂きたいと思っております。

講演の後、参加者と講演者との総合質疑応答を行い、より実りあるシンポジウムにしたいと計画しておりますので、多数のご参加をお願い致します。

日時： 平成21年10月30日(金) 13:30～17:00

会場： 広島商工会議所 1階101会議室 (原爆ドーム前電停前)

広島市中区基町5-44 TEL(082)222-6610(代表)

主催： 中国地区品質経営協会

■「新エネルギー部品への取り組み～燃料電池用触媒～」

戸田工業(株) 創造本部 技術開発グループ 係長 理学博士 小林 齊也^{なおや} 氏

新エネルギーとして、太陽電池、燃料電池などが新聞や雑誌等で盛んに取り上げられ紹介されています。また、自動車に関しては、ハイブリッド車や電気自動車に必要とされる二次電池も話題となっています。

弊社では、10年ほど前に二次電池正極材料市場へ参入する一方、燃料電池に関する素材、部材、部品の研究開発を10年ほど前よりスタートし、現在では、触媒部品としてほぼ実機搭載できる段階までできています。

第3回ものづくり日本大賞では、その実用性の高さ、ニーズとの高いマッチング性などが評価され優秀賞を受賞しました。

本講演では、研究開発の目的や取り組み姿勢、開発状況などのご紹介をします。

- 略歴 1998/3 京都大学大学院理学研究科博士課程後期課程修了
 酸化物高温超伝導体の高 Tc 化研究、高压合成法による新規酸化物・超伝導体探索。
 Bi 系超伝導体での世界最高 Tc 発現に成功。
 また、頂点 Cl を持つ銅酸化物高温超伝導体を新規に発見し、高温超伝導の発現機構解明の
 手がかりとなっている。(Nature 等掲載)
 現在も物理学会や日本化学会にて本物質の研究が紹介されている。
- 1998/4～ 戸田工業株式会社 創造本部 入社・配属
 顔料、磁性材料、樹脂安定剤、自動車用排ガス触媒、燃料電池用触媒、次世代磁石材料、透
 明導電膜、電極材料の研究開発をこれまで行ってきている。
- 2007/4～2009/3 東北大学 客員教授 <次世代磁石材料にて>

■「マツダにおける水素自動車開発の取り組み」

マツダ(株) プログラム開発推進本部 主査 柏木 章宏氏

地球温暖化対策、とりわけ二酸化炭素排出量の削減は、いまや世界的な重要課題となっています。そうした中マツダでは、長年培ってきたロータリーエンジンの技術を活かして水素自動車を開発し、2006年に世界初のリース販売を実現しました。水素は燃えた後に水になり、温暖化の原因となる二酸化炭素を発生しません。しかし、一方でガソリンとは異なる特性を持ち、水素エンジンを実用化するにはさまざまな工夫が必要でした。

これらの開発で、2008年に第5回新機械振興賞会長賞を、2009年には第3回ものづくり日本大賞優秀賞を受賞しました。

本講演では、水素自動車開発の目的やこれまでの取り組み、最新の開発状況などを紹介します。

- 略歴 1982年 マツダ株式会社(当時 東洋工業(株))入社 シャシー設計に従事
 1993年 EV(電気自動車)開発を担当し、ボンゴバンEVを市場導入
 1999年 EV開発 主査
 2001年 「プレマシーFC-EV」で日本初の燃料電池自動車の公道走行を実現
 2004年 水素自動車 主査
 2006年 「RX-8 ハイドロジェンRE」で世界初の水素エンジン車のリース販売を開始
 2009年 「プレマシーハイドロジェンREハイブリッド」のリース販売を開始
 現在に至る

■ プログラム

時間	内容
13:30~13:35	開会挨拶 中国地区品質経営協会
13:35~14:45	講演(1) 新エネルギー部品への取り組み~燃料電池用触媒~ 戸田工業(株) 創造本部 技術開発グループ 係長 理学博士 小林 斉也 氏
14:45~15:00	- 休憩(15分) -
15:00~16:10	講演(2) マツダにおける水素自動車開発の取り組み マツダ(株) プログラム開発推進本部 主査 柏木 章宏 氏
16:10~16:25	- 休憩(15分) -
16:25~16:55	総合質疑応答 総合質疑司会 広島大学 教授 井上 善海 氏
16:55~17:00	閉会挨拶 中国地区品質経営協会

■ 総合質疑司会

◆ 井上 善海 氏

1954年生まれ。

神奈川大学卒業後、会社経営・倒産を経験。

その後、経営コンサルタントへ転進。約250社の民間企業に関与。

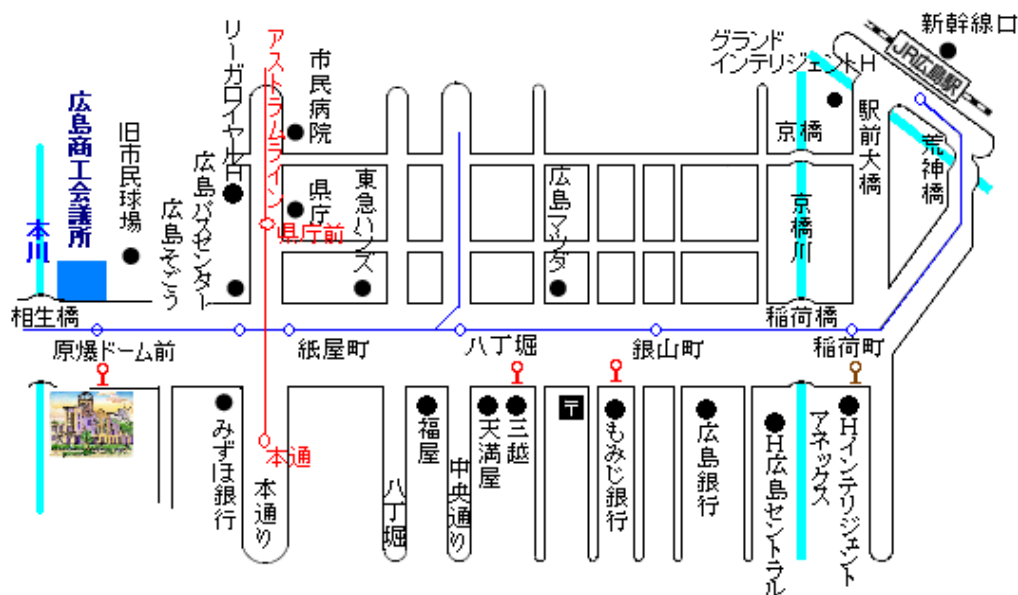
福岡大学大学院、九州情報大学助教授を経て、

2004年広島大学大学院社会科学部教授。

2006年から広島大学大学院社会科学部副研究科長・マネジメント専攻長。

専門分野は経営戦略論、事業創造論。博士(商学)。

■ 会場案内



広島商工会議所 1階 101 会議室

広島市中区基町5-44

TEL (082)222-6610(代表)

JR広島駅から電車またはバス

・バス停:市民球場前

・バス停:広島バスセンター

・電停:広島電鉄 原爆ドーム前

アストラムライン:県庁前

■ 参加要領

【定 員】 100名程度

【参 加 費】 会員会社 無料 (非会員会社 3,000円/一人)

【申込締切日】 平成21年10月16日 (金)

【申 込 方 法】 申込用紙に必要事項を記入のうえ、郵送、FAXまたはeメールで申込み下さい。

キリトリ



シンポジウム「モノづくりマネジメント技術革新」参加申込書

申込先 : 中国地区品質経営協会

TEL (082)532-6844

FAX (082)532-6845

〒733-0011 広島市西区横川町3丁目5番9号 (世良ビル404号)

e-mail; qmac@a1.mbn.or.jp

URL; http://qmac.jp/

会社名	申込責任者: TEL: e-mail:
住所(〒)	
参 加 者 名	所 属 ・ 役 職
参加者 (計 名)	受付確認連絡 必要 ・ 不要
参加費 (計 円)	請求書発行 必要 ・ 不要

※ご記入頂いた企業・組織および個人情報、参加申込受付処理並びに当協会からのセミナーや行事のご案内のために使用します。